

角 夏季少年のバス 島を舞台にひとまわり成長

青少年育成町民会議主催の「夏季少年のバス」が7月19日～21日まで、山口県下関市の角島へ行われました。釣りや海水浴、散策などの体験活動を通して、町内の小4～中3までの31人が、学校や学年の枠をこえて交流。角島小学校に2泊宿泊し、終始班活動で行動を共にした子どもたちは、少し日焼けした頼もしい表情で、帰路につきました。



角島のエメラルドグリーンの海で、歓声を上げ大波に向かっていく子どもたち。

「人権と福祉のまちづくり」を演題に、家庭や地域について講演する宮崎教授。
人権と福祉のまちづくり
講演会・町民報告会



誰 福智町人権講演会 誰もが住みよいまちへの提言

福智町人権講演会が7月13日に地域交流センターで開催され、東筑紫短期大学の宮崎正人教授が講演をしました。宮崎教授は児童・高齢者福祉の観点から、戦後の社会環境の変化と人権問題をわかりやすく説明。「より良い社会づくりのためには、ふれあい、見守り、支えあいという世代間交流が必要です」と住みよいまちづくりに対して提言しました。

死 福智町交通事故抑止総決起大会 死亡事故ゼロを目指して

今年になって福智町で2件の交通事故死亡事故が発生したことを受け、田川警察署と福智町などが「交通事故抑止総決起大会」を7月15日に地域交流センターで行いました。155人の参加者全員で「交通ルールを守り、安全で快適なまちづくりに寄与する」と交通安全を宣言。この後、女性警察官がコミカルな寸劇で高齢者に交通安全を呼びかけました。



観客も参加した時代劇風の寸劇では、交通安全の心得をわかりやすく紹介。

毎月ありがとうございます。早朝からの作業を終えたコスモスを守る会の皆さん。



施 コスモスを守る会が発足 設運営支える力強いボランティア清掃

コスモス保健センターを利用しているサークルや同好会のメンバーが「コスモスを守る会」を立ち上げ、清掃活動を続けています。「私達の活動がコスモスの運営経費削減につながるれば」と代表の枝川安政さん(赤池)。「財政難の町に少しでも協力したい」と、およそ40人で発足し、4月から毎月1回、1時間程度のゴミ拾いや草取りに汗を流しています。

大一番で全員一丸となった選手たち。全国の大舞台でも「赤い稲妻」がとどろく。



劇 金田ジュニアクラブ県大会優勝 劇的勝利で小学生の甲子園へ

350チームが参加した「高円宮賜杯福岡県大会」で、金田ジュニアが優勝し「高円宮賜杯全日本学童軟式野球大会」への出場を決めました。7月6日に北九州市で行われた決勝戦では、9回終了まで2対2の投手戦。延長戦では1点をリードされましたが「ボールに食らいついた」という代打原田拓哉くんの2点タイムリーで劇的な勝利を収めました。「小学生の甲子園」といわれる全国大会は、全国1万5千チームから勝ち抜いた51チームが出場し、8月9日から茨城県水戸市で開催されます。

人 同和問題啓発強調月間街頭啓発 人権意識の向上呼びかけ

同和問題啓発強調月間の初日にあたる7月1日に、同和問題への正しい理解と解決を呼びかける街頭啓発が行われました。スーパー方城、ふじ湯の里、金田駅前、日王の湯、スーパー川食、金田新町商店街の町内6か所で、町職員らが啓発チラシと啓発タオルを配布。一人ひとりに手渡ししながら、人権尊重と啓発行事への参加を呼びかけました。



新町商店街で各店舗を回り、差別のない社会を呼びかける浦田弘二町長。

大舞台をイメージしながら、ティーバッティングで鋭い打球を放つ選手たち。



目 赤池ベアーズホークスカップ出場 指す舞台は福岡ドーム

九州・山口の中学硬式野球7リーグ約200チームの頂点を決める交流戦ホークスカップ。赤池ベアーズがボーイズリーグの予選を勝ち抜き、この大会の出場権を獲得しました。代表32チームで繰り広げられるこの大会は、準決勝からは「福岡Yahoo! JAPANドーム」が舞台、選手は「福岡ドームで試合をしよう」を合い言葉に練習に励んでいます。